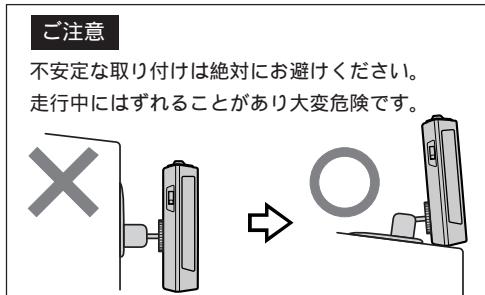




# 取り付け

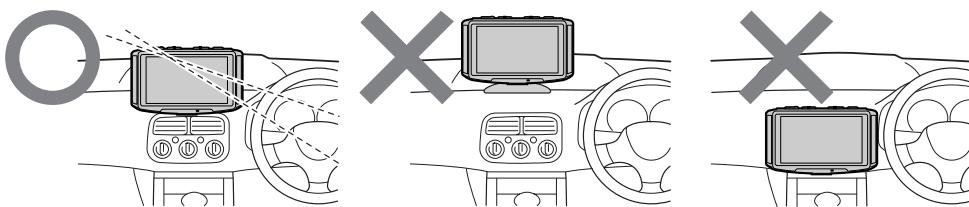
## モニターを取り付ける前に

本機のモニターは安全性を重視して設計されておりますが、正しい位置に確実に取り付けを行わないと事故の原因となり大変危険です。取り付ける前に、必ず下記事項の確認を行なってください。また、助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付けてください。



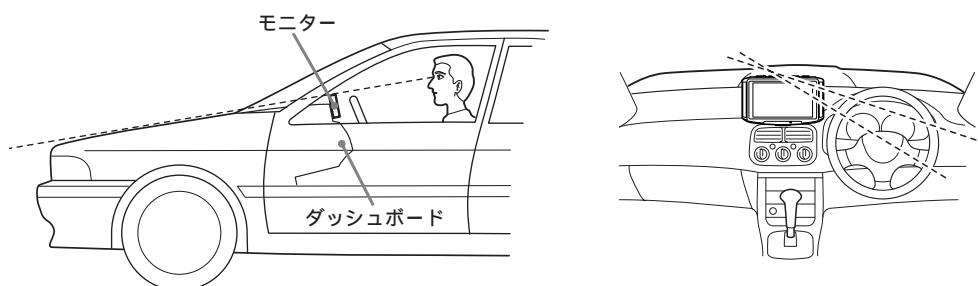
### 取り付け位置

前方視界を妨げることがなく、また運転中極端に視線を動かさずすむようにダッシュボードのなるべく高い位置に取り付けてください。



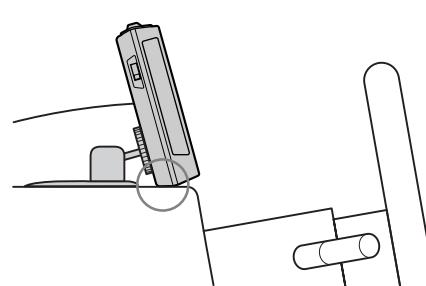
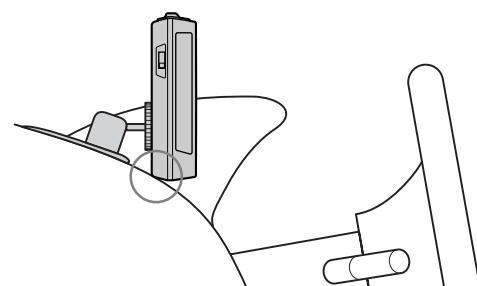
### 取り付け位置のポイント

- 運転者から見たときに、モニターがボンネットの先端よりも上に出ない。
- 極端に目線を下げる位置に設定しない。



### ダッシュボードが曲面の場合

モニター底面をダッシュボードにあてて固定する。



### ご注意

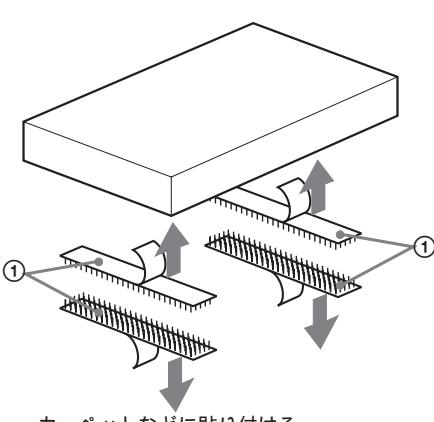
- モニターは極端に低温または高温になる場所には取り付けないでください(キャビネットの変形や液晶パネルの故障の原因になります)。また、直射日光下の車内はかなりの高温になりますので駐車中にはモニターカバー②で覆うなどして、日光が直接当たらないようにしてください。
- モニターを取り付けるときは明るさ検知部を覆ったり、ふさいだりしないようにして取り付けてください。

## TVチューナユニットの取り付け

助手席の下などに取り付けてください。

### マジックテープ①でカーペットなどに取り付ける。

トランクルームに取り付けるときは、別売りの  
トランク取付キットRC-550MP  
・モニター延長コード(4 m)  
・電源接続コード(5.5 m)  
をご使用ください。



### ご注意

- 直射日光が当たる場所やヒーターの熱風を直接受ける場所など温度が極端に高いところへの取り付けは避けてください。
- ナビゲーションシステムと組み合わせてお使いになるときは、TVチューナユニットと地図ディスクプレイヤー(別売り)は、できるだけ離して設置してください。ナビゲーションシステムの近くに設置するとテレビ画像に影響が出ることがあります。

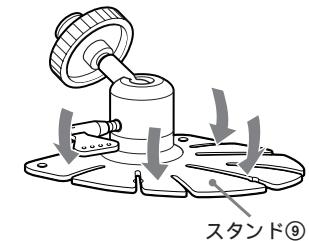
## モニターの取り付け

「モニターを取り付ける前に」の項目をご覧のうえ、設置しようとする場所で正しい取り付けができることを確認してから取り付けを行なってください。

ご注意  
モニターを取り付けるときは必ず付属のスタンド⑨をお使いください。

### 1 ダッシュボードの形状に合わせて、スタンド⑨を曲げる。

曲げすぎてスタンドが浮かないようご注意ください。

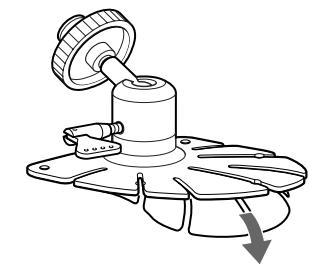


### 2 クリーニングクロス⑫で取り付け面の汚れを取る。

### 3 両面テープのはくり紙をはがし、貼り付ける。

#### ご注意

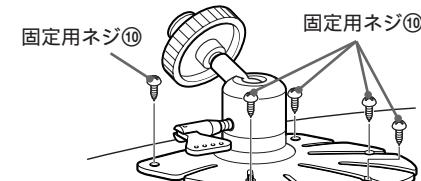
- 取り付け面の表面温度が低い(20°C以下)と両面テープの接着力が弱くなるので、ヒーターなどで温めてから貼り付けてください。また、24時間以上経ってからモニターの取り付けを行なってください。
- 取り付けたあとに両面テープをはがすと接着力が弱くなり危険です。十分に位置を決めてから確実に取り付けてください。
- 取り外すときは、取り付け面を温めてからゆっくりはがしてください。



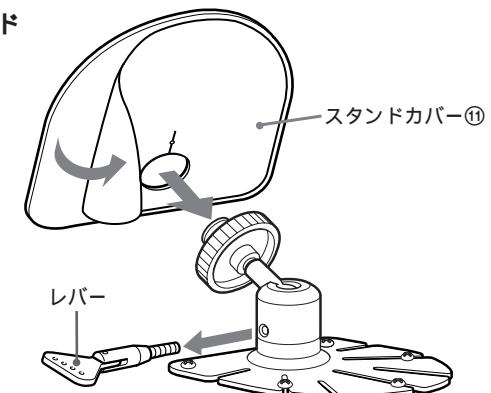
### 4 固定用ネジ⑩で固定する。

#### ご注意

取り付けた状態でネジの先端がダッシュボード内部の配線などに当たっていないことを確認してください。

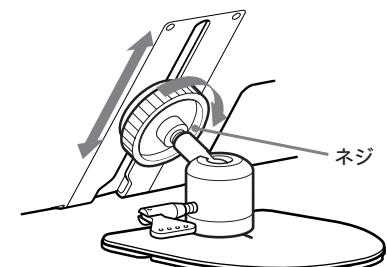


### 5 レバーをいったんはずして、スタンドカバー⑪を接着する。



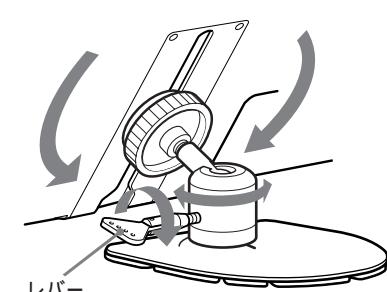
### 6 モニター背面のみぞにスタンドのネジを差し込み、高さを決める。

車の振動によるぐらつきを防止するため、モニターの底面がダッシュボードにあたるように高さを調節してください。調節後はネジを締めて固定します。



### 7 レバーをゆるめて角度を調節する。

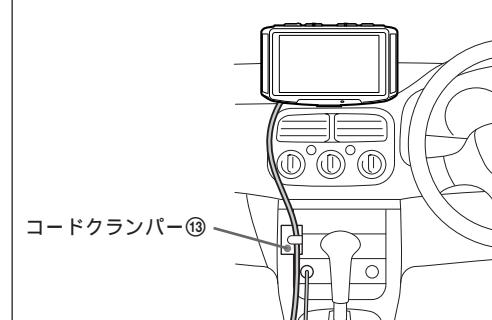
調節後はレバーをしっかりと締めて固定します。



### コードの処理について

取り付けと接続が終わったら、コードは運転の邪魔にならないようにまとめてください。コードがシフトレバーなどにからまる、非常に危険です。

### 助手席側にコードクランパー⑬で固定してください。



#### ご注意

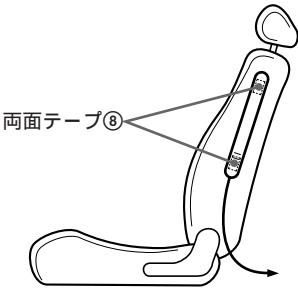
- ドアやシート下のレールにコードがかからないようにしてください。コードがはさまって断線してしまうおそれがあります。
- ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカーなどすべての電装品が正しく動作することを確認してください。

## FMトランスマッターアンテナの取り付け

運転の妨げにならない場所に取り付けてください。

コードは乗り降りの妨げにならないように処理してください。

両面テープ⑧でシート側面などに取り付ける。



### ご注意

- 取り付けるときは電源をOFFにしてから行ってください。
- 放送局の送信アンテナに近い場所や車両のFMアンテナの位置、断熱ガラスを用いた車両では良好に受信できない場合があります。
- 出力はステレオです。

## FMトランスマッターアンテナの動作確認をする

付属のFMトランスマッターアンテナを接続したときは、カーオーディオからテレビの音声が出ることを確認してください。

くわしくは取扱説明書の「カーオーディオで音声を聞く」(17ページ)をご覧ください。

## TVアンテナについて

付属のアンテナはリアウインドウ取り付け専用タイプです。

### ご注意

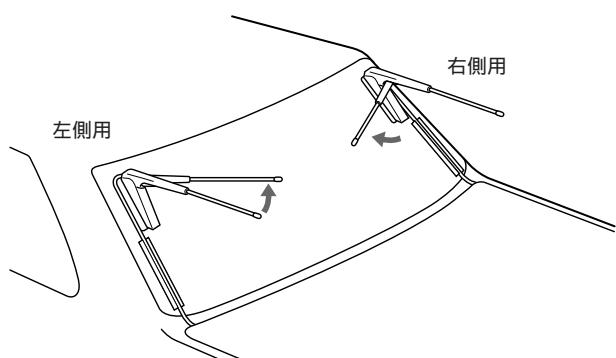
- アンテナはテープの剥がれがなく、確実に固定されているか使用前に必ず確認してください。
- アンテナ取り付け後はネジの取り付け状態を時々点検し、緩みのある場合は増し締めしてください。
- 自動洗車機の使用は避けてください。
- アンテナ本体およびアンテナエレメント、ケーブルをアルコールやベンジン、シンナー、ガソリン、ワックスなどで拭かないでください(変形や破損の原因となります)。
- 車のラジオ用アンテナやパーソナル無線、アマチュア無線、自動車電話などのアンテナが設置されている場合は、それらの影響を受ける場合があります。十分な確認のうえ、アンテナの位置を変更するなどして離して取り付けてください。
- カーオーディオのラジオ用アンテナがリアウインドウプリントアンテナの場合は、AMラジオ受信時に雑音が入ることがあります。このようなときは、アンテナの位置を変えるなどしてAMラジオに影響のないところへ取り付けてください。
- 次のような場所では映りにくくなることがあります。
  - ビルとビルの間
  - 高压線や送電線付近
  - 飛行機が近くを飛んでいる場合
  - 電車が近くを走行している場合
  - 山中や放送局から遠い場所
  - トンネル内
  - ラジオ放送やアマチュア無線局の送信アンテナ付近

## TVアンテナの取り付け

### アンテナを取り付ける前に

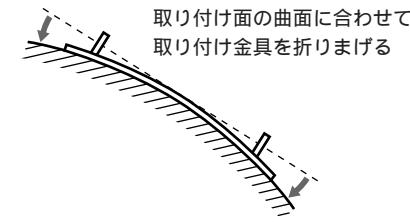
- アンテナエレメントが車体より出ない場所を選んでください。車体より出ていると目に当たるなどして大変危険です。
- アンテナエレメントが車体およびリアトランクに当たらない場所に設置してください。
- アンテナエレメントを広げたときに、お互いが当たらない位置に設置してください。アンテナエレメントが当たるとノイズが出る原因となります。
- ガラス曲面がきつく取り付け金具がガラス面に合わない場合は、はがれる危険がありますのでなるべく平らな部分に貼り付けてください。
- 取り付け金具を貼り付ける場合は、取り付け面に水があると接着力が低下し、はがれる危険性があります。湿気(雨や霧など)の高いときは貼り付け面を十分に乾燥させてください。
- 取り付け面の温度が低いときは接着力を上げるために車内ヒーターやリアウインドedefogger、ドライバーなどを使用して温めてから貼り付けてください。
- アンテナ取り付け後、すぐに走行してもさしつかえありませんが24時間以内に水をかけたり、雨にあてたり、アンテナに力を加えることはしないでください。
- アンテナには左側用と右側用があります。アンテナの左右を間違えないようご注意ください。

### 取り付け例



### 取り付けかた

- 不織布⑯にクリーナー液⑰を染みこませ、貼り付け面に付着している油やワックス、ほこりなどの汚れを拭きとる。クリーナー液が乾いたら水で洗い流し、乾いた布で乾拭きする。



- アンテナから取り付け金具をはずし、貼り付け面に合わせて折り曲げる。

取り付け金具と貼り付け面の間にすき間がないことを確認してください。

- 取り付け金具裏面のはくり紙をはがして貼り付ける。

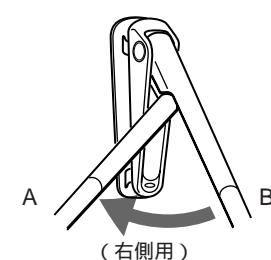
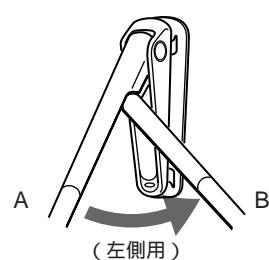
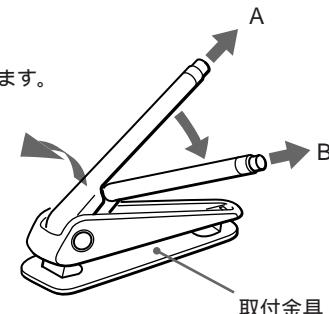
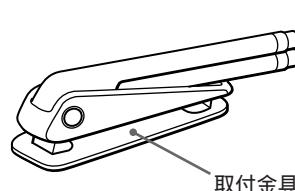
接着面に手を触れたり、貼り直しをすると接着力が低下しますのでご注意ください。

### アンテナの使いかた

アンテナ本体を起こしてからエレメントAおよびBの各段をいっぱいにのばして、エレメントBを内側へ倒します。

### ご注意

取り付け場所によってはアンテナの性能が劣化する場合があります。



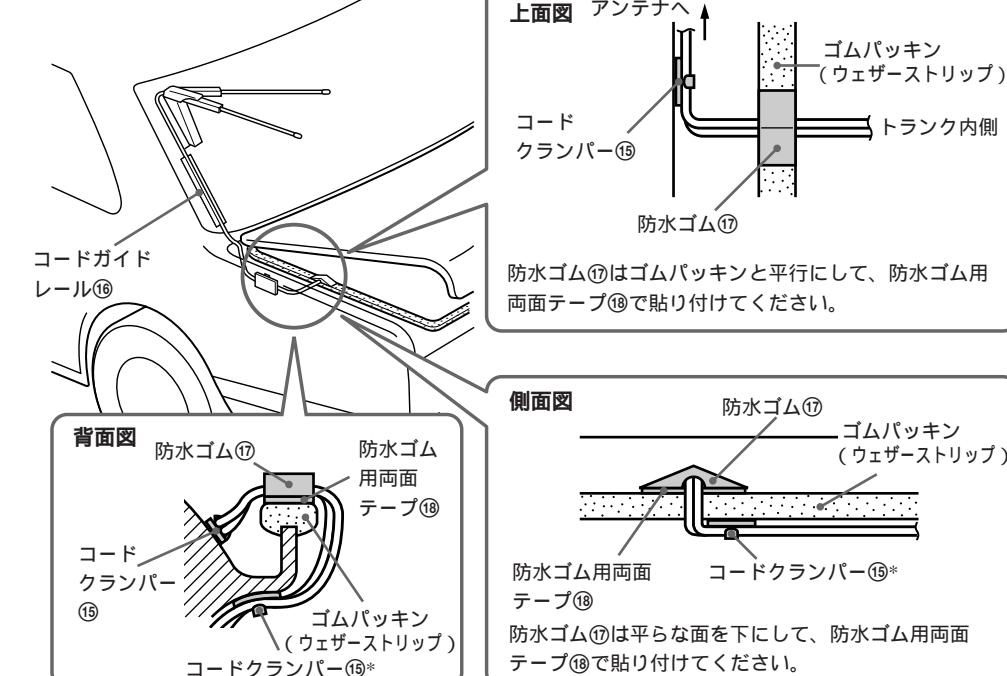
### アンテナコードの配線

配線をする前に

- アンテナコードの配線位置は高熱部を避けてください。
- 車の雑音を受ける場合がありますのでコードは車側の配線類から離して設置し、配線処理も確実に行ってください。

雨水などの侵入を防止するため、コードの車室内への配線には十分注意してください。

### ケーブルの配線図



\* このコードクランパーは必ず防水ゴムより低い位置に取り付けてください。  
トランク内への水漏れの原因となります。

